

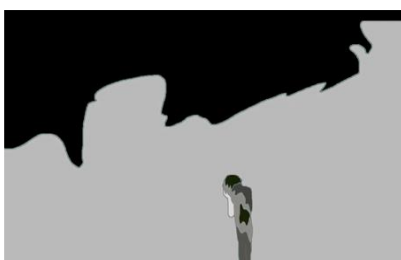
学院福音化^{がくいんふくいんか}メッセージでは、5つの「あらかじめ^み」を見ています。

1. あらかじめ^み見る
2. あらかじめ^も持つ
3. あらかじめ^{あじ}味わう
4. あらかじめ^{せいふく}征服
5. あらかじめ^{じょうじゆ}成就

この中の「あらかじめ^{せいふく}征服」を^みみます。

この5つの「あらかじめ」は、私^{わたし}と私^{わたし}たちのものではなく、完全^{かんぜん}に「神様^{かみさま}のもの」です。

その神様^{かみさま}のものが、創世記^{そうせいき}1:27、28にあるように、「神^{かみ}のかたち」としてつくられた私^{わたし}たちに、すでに「あらかじめ^あ」は与えられていました。



しかし、創世記^{そうせいき}3章にあるように、アダムとエバが、善悪^{ぜんあく}の知識^{ちしき}の木の^き実^みを取^とって食^たべた事件^{じけん}によって、私^{わたし}たちは、神^{かみ}のかたち^{うしな}を失^うい、あらかじめ^{せいふく}征服^{しゆくふく}する祝^{うしな}福^{ふく}も失^うってしまったのです。

そこで「女^{おんな}の子孫^{しそん}」(メシヤ、キリスト)つまり、イエス様^{さま}の十字架^{じゆうじか}の死^しと復活^{ふっかつ}によって、それを信^{しん}じる私^{わたし}たち、すなわち「永遠^{えいえん}の前^{まえ}から神^{かみ}の民^{たみ}として選^{えら}ばれた私^{わたし}たち」には、すでに創世記^{そうせいき}1:28の「あらかじめ^{せいふく}征服^{しゆくふく}」の祝^{うしな}福^{ふく}は回復^{かいふく}しています。今月はその「あらかじめ^{せいふく}征服^{あじ}」を味^{あじ}わいましょう。



2月の学院福音化^{がつ がくいんふくいんか}のメッセージの序論^{じよろん}で、3つのこと^{かた}を語^{かた}られました。

1. 3 9 3
 2. メモ (みことば^{いの}、祈^{でんどう}り、伝道)
 3. 未来^{みらい}を見る
- 3, 9, 3を24時^{じいの}祈^かって、書^かかなくてもよいほど、自分^{じぶん}に生活^{せいかつ}の中^{なか}に「みことば^{いのり}、祈^{でんどう}り、伝道^{きろく}」が記録^{きろく}されているなら、未来^{みらい}を見る^みことができます。

そのことをひとつずつ^み見てみましょう。

9 (5つの力、御座)

最初にメッセージを通して与えられたのは、

- 御座の祝福、時空を超えた答え、237光、
- 神のかたち、土で造られた人間にいのちの息を吹き入れてくださった祝福、創造の祝福
- 空前絶後

のメッセージでした。

それを簡単に「5つの力と御座」と語られました。

聖霊の満たしを求めつつ、次のように祈りましょう。

1) 5つの力

「霊力、知力（知恵）、体力、経済力、出会いの祝福（人材力）」の5つの力を祈りましょう。

2) 御座の祝福、時空を超えた答え、237光

御座の祝福を味わえるように祈りましょう。

これは、熱心にどこかに祈って求めて受けることではありません。神様が聖霊を通して、神の子どもの中に入って来ておられます。すでに、心の中に御座の祝福はあるのです。他のところで探して求めて得ようとしなくて、私の内にいつもともにおられる神様に向かって、「私にある御座の祝福を味わえますように」と祈ればよいのです。

時空を超えた答え

祈りでなんでもできます。それが時空を超えた答えです。地球の反対側にいる人々、国々のために祈ることが、時空を超えた答えです。世界福音化は神様がなさってくださいますが、そのために祈り、知っている宣教師先生や国のために祈りましょう。（最近、トンガで火山の大噴火がありました。その影響が日本にもありましたが、トンガには、タラップンの宣教師家族がおられます。そのために祈りましょう）

237光

すでに、私の中に「いのちの光、創造の光」が臨んでいるので、味わいましょう。

3) 私、教会、現場（学業）の空前絶後

ここに空前絶後の答えがあるように祈りましょう。

私たちひとりひとは、70億の人口の中で「たったひとり」しかいません。

同じような人はいません。そのような私に三位一体の神様がおられる、そのこと自体が「空前絶後の答え」です。ですから、私の空前絶後の答え、

そのような私がいる教会の空前絶後の答え、私がしている勉強（できる、できない関係なく）その中に空前絶後の答えがあることを覚えましょう。



3 (3時代)

1) 牧会者時代

2) 重職者時代

3) レムナント時代

牧会者、重職者、レムナントを通して、神様の世界福音化のみこころが成し遂げられるように祈りましょう。

この時代に残された神様を信じる人はみんな（牧会者、重職者、子どもたち）レムナントです。

子どもたちは、成長したら重職者、牧師、宣教師になるでしょう。

それゆえ、レムナントとして祈り、教会を生かす重職者としての祈り、牧師先生、宣教師先生のために祈る必要があります。



2. メモ（みことば、祈り、伝道）

書かなくてもよいメモになるようにしましょう。

II コリント 3:2-3

私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

福音を信じて、福音を持っている人は、神様の「推薦状」、その人を通してキリストを知る「キリストの手紙」です。素晴らしいわざ、作品を残すからではありません。生活、人生自体が「ただキリストだけ」を説明する手紙であることを覚えましょう。

「イエス様を信じている」「イエス様がすべての問題の解決者」と言わなくても、生活を通して他の人に知られる、読まれるキリストの手紙になっていることを覚えましょう。（御霊によって書かれたので）

3. 未来を見る

3, 9, 3をいつも自分の祈りとなって、キリストの手紙の人生なら、未来を見るようになります。
ヘブル 11:1

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。
信仰によって見えないことが私のものになるのです。



未来を見るとは、

—いま、いるところ

—いま、やっていること

—いまの時刻表が **征服の座** ということです

すでに新しい天と地、新しいエルサレムの天国に行く神の民です。

その未来が、いま、すでに私のものになっています。

黙示録に書いてあるように、苦難、飢饉、いろいろあっても、神様は私たちを天国の民として、キリストの新婦として、永遠の天国に導いてくださいます。それが未来のことですが、完全にいま、成し遂げられています。ですから、どんなにいまが苦しくても、つらくても、どんなところにいてもすでに「征服の座」についているのです。これを信じましょう。



世界征服するために熱心がんばる必要はありません。

神様のために、自分の力を出してなにかをしようとする必要はないのです。

では、なにをするのでしょうか。

イエス様が言われたことを見ましょう。

ヨハネ 6:29

イエスは答えて言われた。「あなたがたが、**神が遣わした者を信じる**こと、それが神のわざです。」

ヨハネ 6:40

事実、わたしの父のみこころは、**子を見て信じる者**がみな永遠のいのちを持つことです。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。」

ヨハネ 17:3

その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。

ただイエスがキリストであることを信じること、これが私たちがすべき第一のことです。